

- Index-
- 地域支援の申し込みについて
  - 令和6年度 地域支援報告
  - 令和7年度各種研修会のお知らせ（予定）
  - チャレンジ！発音指導㉔



## 創刊31年目「みみネット」

大阪府立中央聴覚支援学校〈聴覚支援センター〉では、地域の学校園の先生方に向けて、聴覚障がい教育に関する情報紙「みみネット」を月1回発行しています。大阪市立学校園にメール配信するとともに、大阪府立学校園にも案内を送信しています。ぜひ、ご活用ください！

「みみネット」は、本校ホームページから閲覧可能です。  
<https://www2.osaka-c.ed.jp/osakachuo-c-s/>



## 地域支援の申し込みについて

本校では、「きこえ」や「ことば」に関する相談・支援を行っています。聴覚障がい教育の豊かな経験と専門的な知識を持った教員が、それぞれの課題に即した相談・支援に応じます。

### 相談・支援の対象

- ①聴覚に障がいのある乳幼児・児童・生徒とその保護者
- ②保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校の先生

乳幼児期から高校生まで、幅広い発達段階に対応した、相談・支援を行っています！



### 教員研修

本校教員が学校園に訪問し、教員研修や理解授業支援を行います  
(例)「きこえと補聴機器」「きこえにくい子どもへの指導の実際」「擬似難聴体験」など

### 理解授業支援

共同して授業計画を立案し、効果的な指導に結びつくよう相談・支援を行います  
(例)「聴覚障がいのある先生との交流」「きこえにくさの体験」など

### 支援や指導に関する相談

指導の方法、教材作成上の工夫、教室の音環境、情報保障等に関する相談・助言に応じます

### 補聴相談

聴力の測定やことばのききとり評価を行うとともに、補聴器や人工内耳の効果的な活用などについての相談に応じます

### 各種研修会（年間3回）

年3回の研修会を、本校にて実施しています

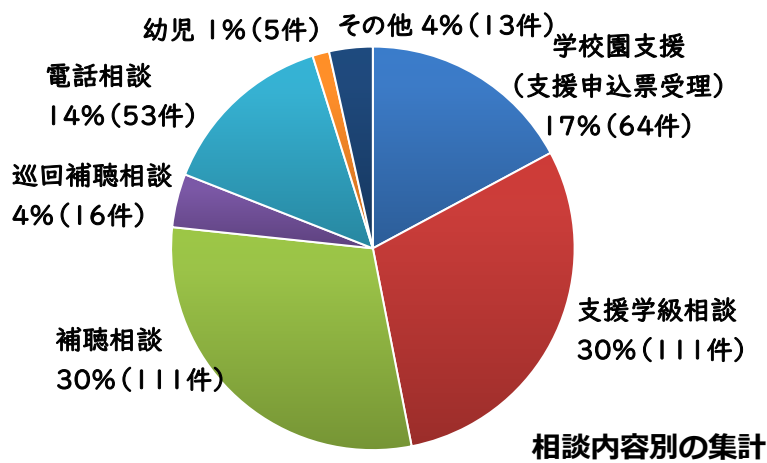
## <申し込み方法>

ご相談は随時受け付けています。本校に支援や相談を依頼される場合には、本校の聴覚支援センターまで、電話またはFAXにて、ご連絡ください。なお、大阪市立の学校園からの依頼は、大阪市「SKIP 書庫」に支援申込票などの必要書類が掲載されています。支援に関する電話連絡の際には、なるべく支援部専用携帯電話へご連絡ください。

聴覚支援センター  
TEL. 080-7008-9463 (支援部専用)  
06-7712-1405 (支援部直通)  
06-6761-1419 (学校代表)  
FAX. 06-6762-1800

## 令和6年度 地域支援報告

昨年度、本校が実施した支援総数は、373件 でした。本校の聴覚支援センターが実施した支援相談の件数について、相談内容別で集計した結果は次のとおりです。



聴覚支援センターでは、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の支援として、「支援学級相談」(教育相談)を実施しています。支援学級相談の申し込みがあった大阪市・守口市の小・中学校に対して、希望があれば訪問支援を行っています。

### 支援学級相談

令和6年度は、「支援学級相談」の対象児童・生徒 **42** 名に対し、のべ **59** 回の訪問支援を行いました(訪問支援は、グラフの「学校園支援」の中に含まれます)。

## 令和7年度 各種研修会のお知らせ(予定)

令和7年度の本校主催の研修会についてお知らせします。今年度も地域の先生方のニーズにお応えできるよう、充実した研修内容を企画しています。

### <研修会の日程>

- 8月初旬 「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会」  
「養護教諭セミナー」  
12月初旬 「みみネットアカデミー」

夏の研修会については、日程が決まり次第「みみネット」および本校ホームページ等に、掲載します。どうぞご参加ください

## チャレンジ!発音指導 ㊹

### 力行音

先月号では、力行音の構造について解説しました。  
本号では、2つの練習方法をご紹介します。

#### ・うがいを使う方法

舌の先を下歯茎のところにつけたままで、うがいをさせます。このとき、だんだんと水の量を減らしていきます。これができるば、奥舌を軟口蓋につけて、閉鎖ができています。この奥舌が閉鎖された状態で[k]や「ハッ」と強く息をだすことで[k]音を誘導していきます。うがいができるばスムーズですが、難しければ無理にこの方法にこだわる必要はありません。

#### ・タ行音から誘導する方法

タ行の音が確実にできることを確認します。まだ、タ行音が難しければ、まずは、タ行から練習します。舌の先や中舌あたりを指や舌圧子、アイスクリームの棒、スプーンなどで抑えて「タ」と発音させます。このとき、舌に力が入っているとうまくできません。舌の力を抜くようにします。

この基本練習に続いて、2音節や単語などの練習を重ねていくことで音の定着を図ります。

#### 「みみネット」編集部:

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当:金森、只腰、萩原  
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31  
TEL. 06-7712-1405 (支援関係) / 06-6761-1419 (学校代表)  
080-7008-9463 (支援部専用携帯) FAX. 06-6762-1800

